

ふれあい

No.90 2023.10.15 発行

令和5年度

敬老祝賀会



祝



社会福祉法人 池上長寿園 羽田・糀谷事業部門

特別養護老人ホーム羽田
羽田高齢者在宅サービスセンター
大田区地域包括支援センター羽田

コロナ禍でも継続して行ってきた「敬老祝賀会」が先月、開催されました。

祝い年の方は百寿の方を含めて十六名いらっしゃいました。賞状を、職員の手作り賞状ファイルに入れてお渡ししました。なかなか素敵に出来あがっていて好評をいただきました。賞状を受け取る時の皆さまの真剣な表情がとても印象的でした。

記念品として、手拭いを差し上げています。



昼食は、いつもとちよっと雰囲気の違いが提供されました。

献立の内容は、

- 『お赤飯』
- 『すまし汁(てまり麩)』
- 『トラウトサーモンの西京焼き』
- 『野菜の炊き合わせ』
- 『梨』



おやつには『紅白のねりきり』が提供され、皆さま「美味しかった」と喜ばれていました。



余興として民謡・三味線演奏のボランティア【竜美会】様をお招きしました。当デイサービスとしても、ボランティアの方をお招きするのは久しぶりです。

至近距離での演奏に、とても喜んでくださり、しみじみと聴き入っておられました。なかには涙する方もいらっしゃいました。

いつも賑やかに過ごす事が多い午後の時間が、とても贅沢な時間にかわりました。

皆さまこれからもお元気で過ごしてください。通所のご利用をお待ちしております。



特別養護老人ホーム羽田

今年も夏の風物詩である、自慢の手作り神輿が各階を練り歩きました。

8月



ご利用者様と職員の威勢のいい声が響いていました。

ワッショイ!!
ワッショイ!!



カフェ&バーではアイスを召し上がっていただき、夏を楽しんで頂きました。



敬老祝賀会を開催いたしました。

今年は全フロアー一緒に、皆でお祝いすることができました。

9月



余興で二人羽織を、楽しんで頂きました。

もっと
左!左!



何あれ、
可笑いね〜



これからもお身体に気を付けて、いつまでも元気で過ごしてください



新しい介護リーダーご紹介

9月1日付で特養糀谷から異動してまいりました縄手典子と申します。

特養羽田チームの一員としてご利用者様一人ひとりに寄り添う介護が出来るよう日々邁進してまいりますのでよろしくお願い致します。



☆認知症になっても安心して暮らせる希望ある社会を目指して

2025年には、65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると見込まれ、その数は700万人と推計されています。

誰もが認知症を自分事ととらえ、認知症を知り、備え、人とつながることが大切です。

○認知症を知る

認知症についての正しい知識を得ましょう。認知症の早い気づきや受診、適切な対応につながります。

○認知症に備える

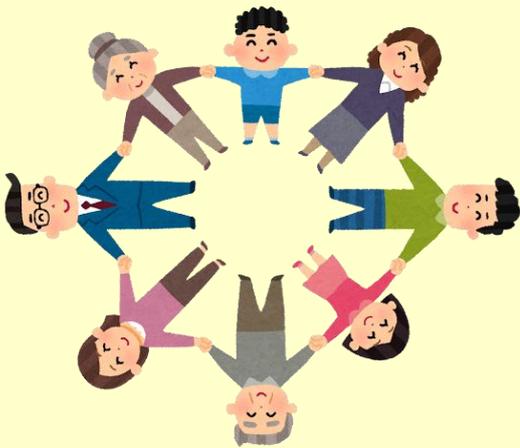
生活習慣病の予防をしたり、趣味などを楽しんだりしましょう。家族に自分の意思を伝えていくことも大切です。

○つながる

人との交流を心がけ、自分や家族だけで、悩みを抱え込まないようにしましょう。

令和5年6月に「認知症基本法」が成立しました。

認知症基本法が成立し、認知症の原因に作用する新薬の承認が期待され、医学や認知症の人の意思を尊重したケアなどが、進歩しつつあります。また、行政・企業・団体などが連携して、認知症にやさしい地域づくりがはじまっているところもあります。



認知症になっても安心して暮らせる社会を考えてみましょう。

他人事から、自分事に

地域包括支援センター羽田・シニアステーション羽田においても、認知症カフェ、認知症・フレイル予防講座、若い支度講座などを開催し、「認知症を知る・認知症に備える・つながる」に取り組んでいます。

この冊子を手にとっていただいているあなた、大切な家族や友人、近所の人、誰にとつても、認知症は身近になってきています。

子どもから高齢者まで、一人ひとりの認知症への理解があいまって、認知症の人や家族だけでなく、誰もが希望を持てる社会が実現するのではと考えています。

特養羽田家族会便り

家族会の藤城です。

コロナ禍の平定を願い、施設職員様の頑張りにより期待して、10月以降の施設生活正常化を目指してまいりましたが、政府のコロナ五類移行に緩和された結果としては、思った以上の平定が望めず、現行はコロナとインフルエンザの同時流行の兆しさえ認められるようです。

特養施設は高齢者の生活基盤と成っている為、特に神経質な程、バリアーを意識して維持して行かなければならない環境であります。

6月の家族会総会に於いて、10月からのカフェ&バー(旧ホームバー・ホーム喫茶)の開催を公言して参りましたが、特養施設長様より来年度への実施時期延期を提案頂き、泣く泣く承認をするに至りました。とても残念ではありますが、仕切り直しを図って行きたいと思っております。

協力員を申し出ていただいた方にも、再開の時期をお待ちいただき様、お願い申し上げます。



人事異動のお知らせ
特養

〈転入〉

縄手 典子(特養靴谷より)

〈新入職員〉

福島 旺佑

〈転出〉

伊牟田 桂馬(特養たまがわへ)

〈退職〉

北島 彩

《編集後記》

夏から続いていた暑さが一段落し、やっと涼しく秋らしくなってきました。

季節の変わり目は体調を崩しやすいので、ご利用者様の体調の変化により一層留意し、職員自身も体調管理に気を付けていきたいと思っております。皆様もお身体にお気をつけてお過ごしください。

令和5年10月15日発行

羽田事業部門 地域貢献委員会